

全ての「社長のひとりごと」がWEBで読める!
『くぼかわよしみち.com』毎月20日更新!!

くぼかわよしみち.com

検索

ホームページ

- asahigloval.co.jp
- glover-mie.co.jp
- super-chintai.com
- agg-hd.co.jp
- goldtrust.co.jp
- goldage.co.jp
- kubokawayoshimichi.com



サ高住は『ありがたい』

アサヒグローバル株式会社 代表取締役
ゴールドトラスト株式会社 代表取締役
ゴールドエイジ株式会社 代表取締役
文／久保川 議道
text:Yoshimichi Kubokawa

今私の母親86歳は『認知』が進んでいまして、グループホームに入居させていたでいています。夜中も含めて24時間の見守りですから家族は凄く安心しています。本当は家でも暮らせる程の認知ですが、私の家内が大病で入院して、退院しましたが自分も含めて母親の生活の世話ができません。どこの家庭でも色々な事情があるものですね。

現在、日本の高齢者(65歳以上・3,395万人)は就業人口(15歳から64歳・7,682万人)の二人に一人となつてしまいました。一人の高齢者を二人の大人が支える『担架型』です。しかし2050年頃にはこれが『肩車型』になり一人の高齢者を二人の大人が支える社会になるのです。世界で初めての日本の『超高齢社会』ですが、それは国家として成り立つのか……と世界中から注目されています。

私は10年前から施設ではない高齢者の介護サービスの付いた住宅の仕事をさせていたでいていますが、これからの超高齢社会を日本が乗り越えるためにはこの『サ高住が日本を救う』方法しかないと考えています。社員さん二人と高い目標を持って努力している毎日ですが、家族の立場で感じること

は、専門の介護技術者(ヘルパーさん)と専門の介護設備(介護浴室や厨房や食堂)のある高齢者住宅は本当に『ありがたい』と感謝せざるを得ません。

といいますのは、先月から私の叔母さん97歳がゴールドエイジに入居させていたできました。私の母のお姉さんですね。私は小さい時からこのおばさんに凄く良くしてもらつて、大変に世話になりました。小学生の頃、自転車を買って欲しくて両親は買ってくれませんでした。このおばさんがおじさんに内緒でお金を出して私に自転車を買ってくれた時の嬉しさは、今も忘れません。

そのおばさんが家でこけて骨折して、一ヶ月以上入院して家に戻つてきた時は『寝たきり』で座することも歩くこともできません。入院すると高齢者の筋力は落ちて元に戻らないんですね。残念で悲しいことです。家族は働しながら寝たきりのおばさんの面倒をみていましたが、それはやはり無理なことでした。『家庭崩壊』と不幸な『親子関係』になつてしまうことは誰が考えても分かることです。私はそうなるまでにおばさんをゴールドエイジに入居していただきました。

家ではお風呂にも入れませんが、入

居して初めてお風呂に入らせていたでいて、本人はワーワー泣いていたそうです。もともと清潔好きで、身の回りもきつちりとして、なかなかおしゃれで大変に『美人』のおばさんでしたから、お風呂に入れていたでいてさっぱりしたことがよほど嬉しかったのでしようね。今も要介護5の寝たきりではあります。ベットの電動の背を上げたり下げたり、テレビを見たり、コココーラを飲ませてもらつたり、食事をしたりに、デイサービスで遊ばせてもらつたり……家族は涙が出るほどに、ゴールドエイジのヘルパーの皆さんに感謝しているのです。

私の母も叔母もこんなにお世話になつて、私達家族は『家庭崩壊』も『老介護の苦しみ』も『仕事を辞める』こともなく普通の生活をさせていたでいてけるのは全てヘルパーさんのおかげですね。しかし一番喜んでるのは母や叔母本人じゃないでしょうか。助けていたでいて、介護していただでいて、そして『生きる尊厳』を守つていただでいて一番幸せなのは本人ですね。

ということサ高住が日本を救うのです。私はそう思つて全力で毎日の仕事に取り組んでいきたいと再度決心しているところです。